

i-river

iFP-1000 Series

<http://www.iriver.co.jp>

(2004.5)



i-river

ハードウェア取扱説明書

Digital Audio Player/Recorder/Camera/FM Tuner

Model iFP-1000 Series



Firmware Upgradable

お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。

<http://www.iriver.co.jp>

目次

はじめに 1

各部の名称 2

セットアップ 3

基本機能 4

便利な機能 5

その他 6

本説明書では、プレーヤーの使用方法和PCソフトウェアのインストール方法について説明しています。曲をプレーヤーに転送するなどのソフトウェアの詳しい使い方については、「ソフトウェア取扱説明書」を参照してください。

本機はFCC規則第15部に準拠しています。動作は以下の条件の対象となります。(1) 本機は(他の通信設備に対して)電波障害となりうるような操作を行ってはならない。かつ(2) 本機は(本機にとって)望ましくない動作を生じえる、他の通信設備からの干渉を受容しなければならない。

注意：この機器は試験の結果FCC規則第15部に従って、クラスBデジタル機器の制限に準拠すると裁定されました。この制限は家庭設置における有害な干渉に対し十分な保護を提供するために設けられたものです。この機器は無線周波数エネルギーを発生し利用し放出しますが、指示通りに設置されかつ使用されなかった場合には無線通信に有害な干渉を生ずることがあります。しかし、特定の設置で干渉を発生しない保証はありません。この機器が万一ラジオやテレビの受信に有害な干渉を生じた場合、利用者は本機をON/OFFすることによりこれを識別することができ、以下の手段の1つまたは複数により干渉を修正することを推奨します。

- 受信アンテナを再調整するまたは設置場所を変更する。
- 本機と受信機の分離を増進する。
- 受信機が接続されている端子と異なる回路の端子に本機を接続する。
- 販売店または実績あるラジオ/テレビ技能者に相談する。

注意：本機の許可されない改造から生じるラジオやテレビへの干渉について製造業者は責任がありません。このような改造は本機を運用するユーザーの権利を無効にします。

ホームページのご紹介	1-1
------------	-----

本製品の特長	1-2
--------	-----

電源について	1-3
--------	-----

本説明書では、プレーヤーの使用方法和PCソフトウェアのインストール方法について説明しています。曲をプレーヤーに転送するなどのソフトウェアの詳しい使い方については、「ソフトウェア取扱説明書」を参照してください。

- URL : www.iriver.com
- 弊社や各製品について、またはお客さま・技術サポートについて最新情報をご覧ください。
- ファームウェアのダウンロードが行えます。ファームウェアのアップグレードにより新しいコーデックへの対応などの新機能の拡張が可能になります。
- サポートコーナーではお客さまから頻繁にいただくご質問に対する解答が「製品に関するよくあるご質問」に掲載されています。
- より充実したサポートをお受けいただくため、iriver製品のオンライン登録をお勧めします。
- 本説明書に記載された内容は、本製品の機能向上や仕様変更により予告なしに変更されることがあります。

個々の情報、アートワーク、テキスト、ビデオ、音声、画像、ソフトウェア、およびその他の知的財産は、著作権法および国際法によって保護されています。当該著作権所有者の許可を得ることなく、これらの知的財産を複製・配布・変更、および公共の場で表示・共有をすること、また、その全部、一部にかかわらず派生させた作品を作成したりする行為は法律により禁止されています。iriver社は、お客様が本製品の使用を通じて、著作権保護された知的財産を違法な方法で使用することを奨励いたしません。

この製品取扱説明書の著作権はiriver社が所有します。また、iriver社に許可なく全文・部分的を問わず本書を無断で転載、複製、インターネットへのアップロード（電気的、機械的、コピー機による複製・ディスクコピーまたはその他の方法）をすることを禁止します。また、本書の内容は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。本機の故障や不具合などにより発生した録音内容の破損など、付随的損害につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

© 1999~2004 iriver Limited, All rights reserved.

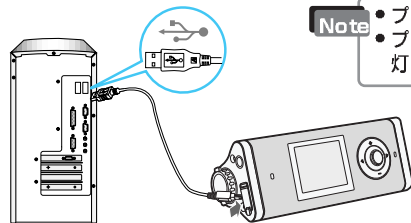
- ▶ Microsoft Windows MediaおよびWindowsロゴは米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。その他すべての名称並びに製品名は、各社または各組織の商標です。

- **マルチコーデックプレーヤー**
MP3、WMA、OGG、ASFフォーマットをサポート
- **ファームウェアアップグレード**
弊社ホームページにて最新ファームウェアを提供
- **多言語(40言語)対応の260,000色グラフィックLTPS LCD**
iFP-1000シリーズは、多言語対応の260,000色グラフィックLTPS(Low Temperature Poly Silicon: 低温ポリシリコン)LCDを備えています。
- **デジタルカメラ**
カメラ内蔵、カラーLCD画面
- **FMラジオ機能**
オートプリセットや周波数メモリ機能により、お気に入りのFM局の設定が可能。
- **6つのEQ(イコライザー) 設定ノーマル、ロック、ジャズ、クラシック、Uパス、メタル**
- **XtremeEQとXtreme 3D**
XtremeEQによってご自分のEQをカスタマイズでき、Xtreme 3Dによってバスサウンドとサラウンドサウンドを向上させることができます。
- **GUI(グラフィック・ユーザー・インターフェース)メニューシステム**
- **使いやすいナビゲーション**
簡単な操作で曲を探することができます。
- **最大8階層のサブフォルダでトータルのフォルダ数500、ファイル数1500を同時サポート**
- **ユーザー作成再生リスト**
- **FMラジオと音声の録音が可能**
音声録音レベルはAGC機能で自動制御
- **使いやすいネクストトラック**
- **内蔵の充電電池でUSBポートから直接充電**

電源について

USBケーブルを使用して充電する

USBケーブルでPCとプレーヤーを連結すると、自動で充電が開始されます。



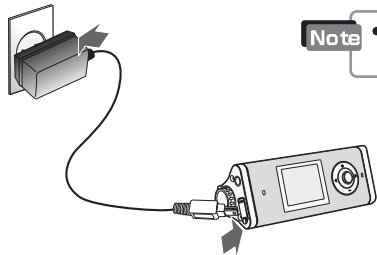
Note

- プレーヤーの電源がオフでも充電されます。
- プレーヤーの充電中は充電表示ランプが点灯し、充電が完了すると消灯します。

* 電池が消耗すると、[Low Battery]とLCD画面に表示されます。

ACアダプタを使用して充電する

プレーヤーに同梱されているACアダプタをプレーヤーのUSBコネクタに接続します。
このプレーヤーの電圧は100~240V(50/60Hz)です。



Note

- 充電時間: 完全な放電状態から約2.5~3時間

電源について

充電電池の取り外しと取り付け

- 取り外し: つまみを押してロックを解除し、充電電池を引き出します。



- 取り付け: 充電電池をプレーヤーに挿入して、ロックされたことを確認します。

Note

- 充電電池は室温で充電および保存してください。
暑い場所や寒い場所では、正常に充電されない可能性があります。
- 充電電池を分解したり、直火にさらすことは避けてください。
充電電池が破裂して、思わぬけがをすることがあります。
- ショートの可能性があるため、充電電池のコネクタと金属を接触させることは避けてください。



Memo

はじめに

1-5

各部の名称

目次

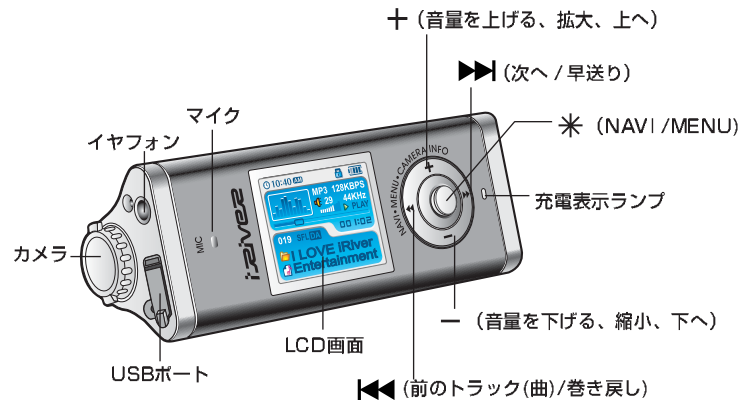
各部の名称

- 前面 2-1
- 後面 2-2
- LCD画面 2-3

本説明書では、プレーヤーの使用方法とPCソフトウェアのインストール方法について説明しています。曲をプレーヤーに転送するなどのソフトウェアの詳しい使い方については、「ソフトウェア取扱説明書」を参照してください。

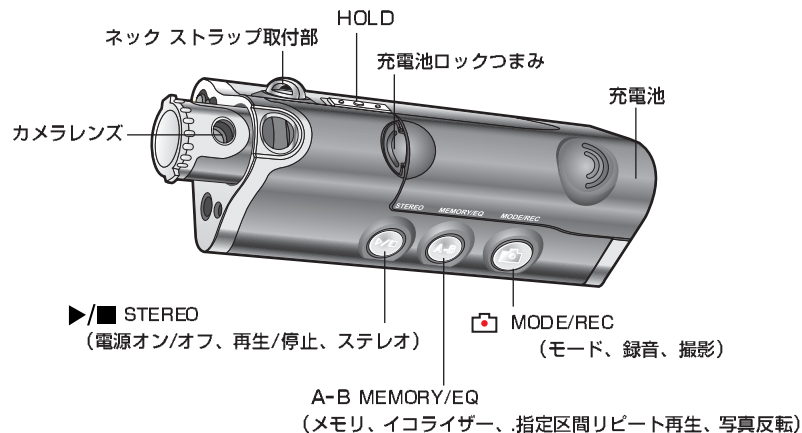
各部の名称

前面



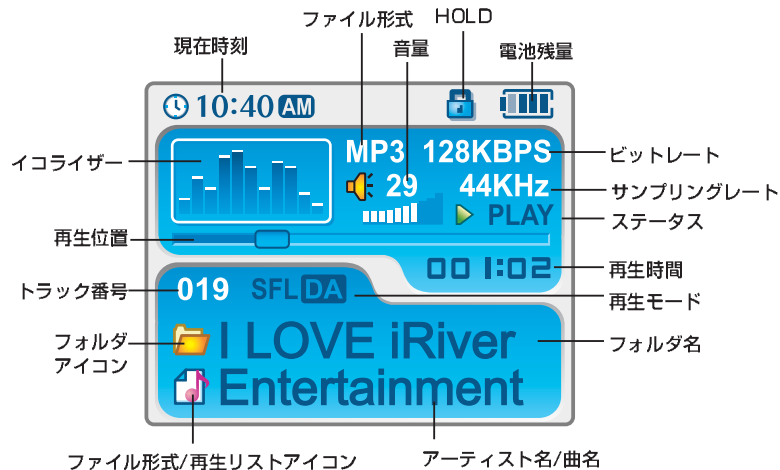
各部の名称

後面



各部の名称

LCD画面



Note

- ファイル形式に応じて次のように表示されます。

ASF : ASF MP3 : MP3 WMA : WMA
IRM : IRM OGG : OGG

- IRM (iRiver Rights Management) iRiver Rights Managementはデジタルミュージックフォーマットの一つです。

セットアップ

目次

PCソフトウェアのインストール 3-1

プレーヤーの接続 3-4

「PCソフトウェアのインストール」では、Windows OSを使用する場合のインストール方法について説明しています。
Mac OSを使用する場合のインストール方法については、「ソフトウェア取扱説明書」を参照してください。

PCソフトウェアのインストール

重要: この項の手順を実行した後で、プレーヤーをPCに接続して下さい。

ソフトウェアのインストール

- PCのCD-ROMドライブにインストールCDを挿入します。
CDを挿入すると以下の画面が出ます。



- インストールが自動的に開始されない場合は、インストールCD内のsetup.exe ファイルを実行して開始してください。
- インストールCDの内容は次のとおりです。
 - デバイスドライバ
 - iRiver Music Manager
 - Manager Program for Mac

iRiver Music Manager (アプリケーションソフトウェア) について

- MP3を始めとした様々な形式のファイルをPCからプレーヤーに転送することができます。
- MP3、WMA、OGG、ASFを除くファイルをプレーヤーからPCに転送できます。
- ホームページ (www.iriver.co.jp) に自動接続して新しい情報や最新のファームウェアのダウンロードをし、プレーヤーをアップグレードすることができます。
- Windows 2000またはWindows XPを使用している場合は管理者権限でログインしてください。

Note 動作環境

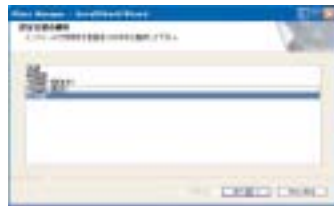
- Pentium 1 33MHz以上
- USBポート
- Window 98SE / ME / 2000 / XP
- CD-ROMドライブ
- ハードディスクの空きスペース10MB 以上

PCソフトウェアのインストール

ソフトウェアのインストール

ソフトウェアのバージョンアップにより、実際の画面とここに示したインストール画面が異なる場合は、www.iriver.co.jp/support/download.phpにて最新の「取扱説明書」をご参照ください。

- 1 PCのCD-ROMドライブにインストールCDを挿入すると、自動的にインストールが開始されます。
- 2 言語を選択し【次へ】をクリックします。



- 3 【次へ】をクリックします。
- 4 【次へ】をクリックします。
インストール場所を変更する場合は[変更]をクリックし、指定します。



PCソフトウェアのインストール

ソフトウェアのインストール

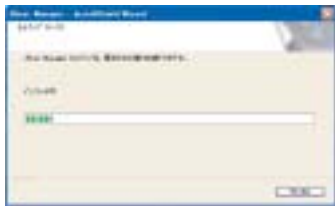
5 [次へ]をクリックします。



6 [インストール]をクリックしてインストールを開始します。



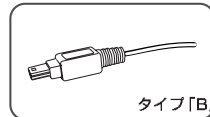
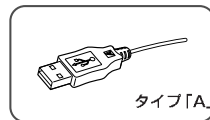
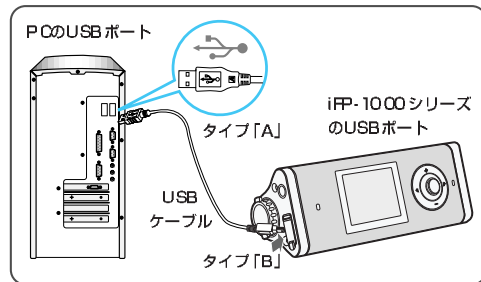
7 インストールが進行します。
インストールが完了したら[完了]をクリックします。



プレーヤの接続

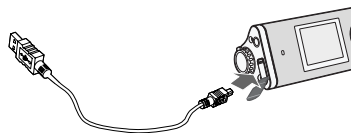
PCへの接続

1 付属のUSBケーブルをPCのUSBポートに接続します。



2 「▶/■」ボタンを押し、プレーヤの電源を入れます。プレーヤのUSBポートのカバーを開け、USBケーブルを接続します。

3 プレーヤのLCD画面に[USB で接続中]と表示されます。



Note

- プレーヤ動作中にUSBケーブルを接続すると誤動作を起こす恐れがあるため、再生を停止してからUSBケーブルを接続してください。

プレイヤーの接続

新しいハードウェアのインストール

- 1 前項の「PCソフトウェアのインストール」を完了し、PCとプレイヤーを接続すると、[新しいハードウェアが見つかりました]という画面が表示されます。
- 2 [ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。



- 3 自動的にプレイヤーの検索が開始されます。
- 4 [ハードウェアのインストール]警告メッセージが表示されたら、[続行] をクリックします。(Windows XPの場合) [続行] してもコンピュータに悪影響を及ぼすことはありません。



- Note**
- Windows 98SE、Windows ME、およびWindows 2000ではこれ以外にデバイスドライバをインストールする必要はありません。
 - 新しいハードウェアのインストールは、iRiver Music Managerプログラムのインストール後に行われます。

プレイヤーの接続

新しいハードウェアのインストール

- 5 インストールが続行されます。
- 6 [完了] をクリックします。
新しいハードウェアのインストールが完了しました。



- 7 新しいハードウェアが正常にインストールされ、使用可能な状態になったことを知らせる画面が表示されます。(Windows XPの場合)



プレイヤーの接続

プレイヤーをPCから安全に切断するには

- 1 マウスの右ボタンで[ハードウェアの安全な取り外し]をクリックし、[ハードウェアの安全な取り外し]を選択します。
- 2 切断するデバイスを選択して[停止]をクリックします。



- 3 停止するデバイスを確認し、[OK]をクリックします。
- 4 [ハードウェアの取り外し]メッセージを確認したら[閉じる]をクリックします。(Windows XPの場合)



基本機能

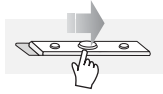
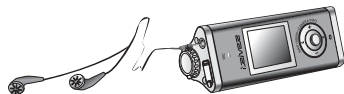
目次

基本機能に慣れよう	4-1
音楽を聞く	4-9
FMラジオを聞く	4-10
録音する (FMラジオ/音声)	4-15
デジタルカメラ	4-19
写真を見る (マイアルバム)	4-23

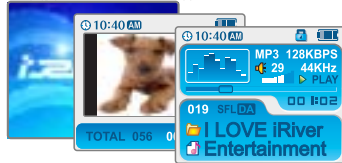
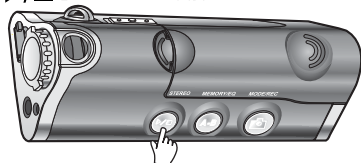
基本機能に慣れよう

プレーヤーの電源を入れる

- 下図のようにイヤフォンを接続します。
- HOLDスイッチを「OFF」にします。



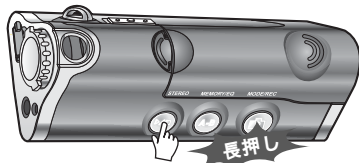
- 電源を入れます。
「▶/■」ボタンを一度押すと電源が入り、もう一度押すと再生が開始します。



- 「HOLD」スイッチが「ON」の場合はプレーヤーのボタンは機能しません。
- 停止状態または録音スタンバイモードになったプレーヤーは、[メニュー]の[停止時電源 off]の設定(5-19ページを参照)に従って自動的に電源が切れます。

プレーヤーの電源を切る

- 「▶/■」ボタンを長押しして、プレーヤーの電源を切ります。

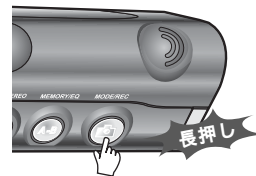


基本機能に慣れよう

機能を切り替える



「MODE/REC」ボタンを長押しすると、LCD画面に現在の機能が表示されます。
「◀◀」側または「▶▶」側を押し、目的の機能が選択されたら「*」を押して決定します。

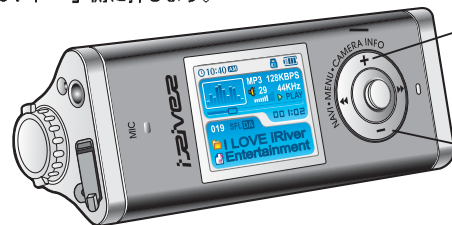


切り替える

決定する

音量を調節する

音量を上げるには、「+」側に押します。
音量を下げるには、「-」側に押します。

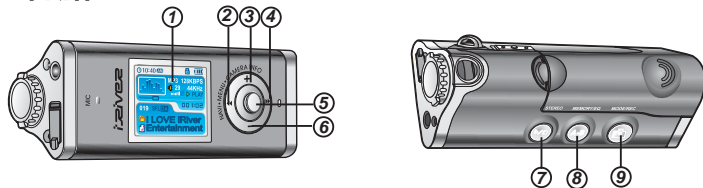


音量を上げる

音量を下げる

基本機能に慣れよう

基本動作



① プレーヤーの動作状態と、選択した写真を表示します。

② 前の曲/フォルダ、写真、FMラジオ局、及び設定項目を選択します。

③ 音量を上げたり、カメラのズームインをします。

④ 次の曲/フォルダ、写真、FMラジオ局、及び設定項目を選択します。

⑤ ナビゲーション/メニュー機能を選択や、選択の決定します。

⑥ 音量を下げたり、カメラのズームアウトをします。

⑦ 電源を入れる/切る、再生の開始/停止、FMモードの選択をします。

⑧ EQの選択、A-B区間リピート再生、FM局の自動保存をします。

NORMAL→ROCK→JAZZ→CLASSIC→U BASS→METAL→Xtr m EQ→Xtr m 3D

⑨ プレーヤー機能の切り替え、再生モードの選択、録音または撮影の開始/停止をします。

ナビゲーション画面

ファイルやフォルダをツリー状に表示します。



メニュー画面

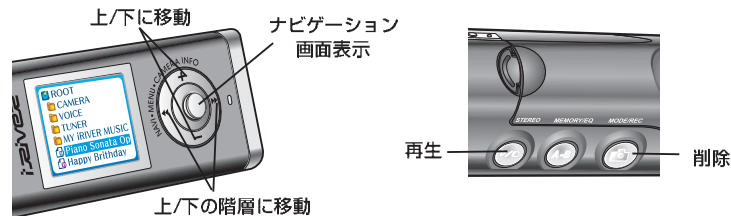
各種設定（カスタマイズ設定）メニューを表示します。



基本機能に慣れよう

ナビゲーションの操作

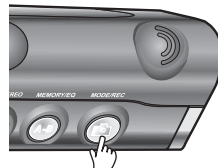
- 「米」ボタンを押してナビゲーション画面を表示し、「十」側「一」側を押して上下に移動し、聞きたい音楽ファイルを探します。上/下の階層のフォルダ移動するには「米」側/「米」側を押します。（上の階層のフォルダがない場合は、ナビゲーション画面が終了されます。）
- 再生するには、再生する音楽ファイルが選ばれている状態で、「米」側、もしくは「▶/■」ボタンを押すと、再生が開始します。



ファイルやフォルダを削除するには、再生停止状態で選択し、「」ボタンを押します。画面に[FILE(or FOLDER) DELETE ARE YOU SURE?]と表示されます。「」側を押して[YES]を選択し、「米」ボタンで決定します。

再生モードの切り替え

音楽ファイル再生中または再生停止状態のときに「 MODE/REC」ボタンを押すと、リピート再生やシャッフル再生などの再生モードに変わります。



リピート再生: 1 D A

シャッフル再生: SFL SFL 1 SFL D SFL DA SFL A

イントロ再生: I

基本機能に慣れよう

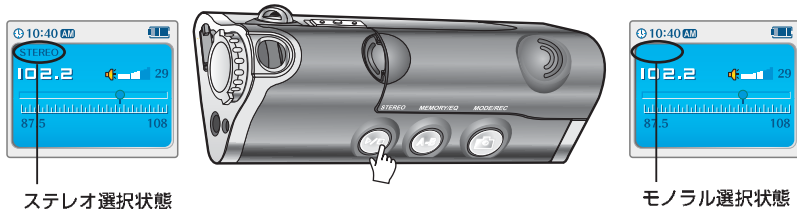
FMラジオ放送を聴く

「FMラジオ」機能に切り替えます。(4-2ページ参照) 「◀◀」側または「▶▶」側を押して周波数を変更し、放送局を選択します。



FMのステレオ/モノラルを選択する

「▶/■ STEREO」ボタンを押してステレオ/モノラルを選択します。



基本機能に慣れよう

写真を撮る

反転する

「カメラ」機能に切り替えます。(4-2ページ参照)

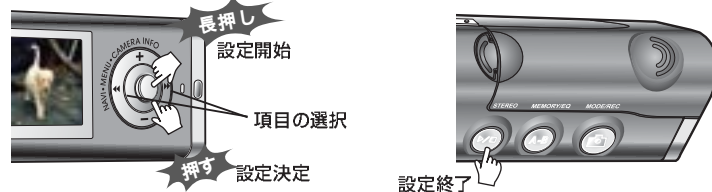


ズームイン/ズームアウトする



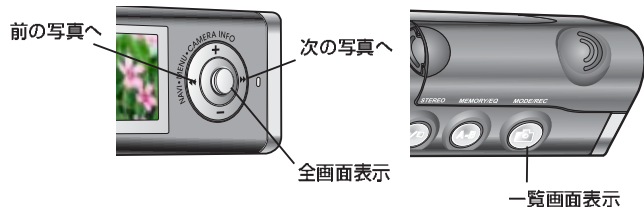
カメラの機能を設定する

「米」を長押しし、設定画面を表示します。



基本機能に慣れよう

写真を見る(アルバム)



写真を拡大して見る



ボタンを繰り返し押す度に、x1、x1.5、x2.0、x2.5、x3.0の順序で拡大します。

Note • HOLDスイッチが「ON」のときは、プレーヤーのボタンは機能しません。

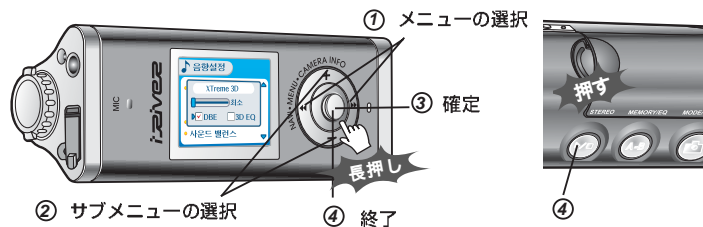
基本機能に慣れよう

機能の設定をカスタマイズする(MENU)

プレーヤーの様々な機能をユーザーの環境に合わせて設定することができます。
「米 (NAVI/MENU)」ボタンを長押しすると、一連のメニューが表示されます。

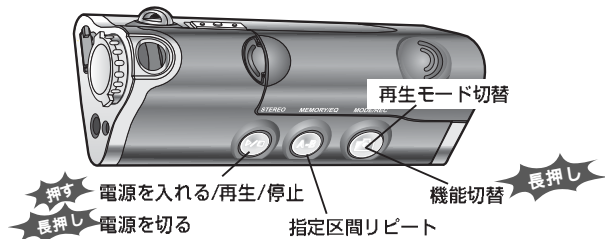


- ① メニューの選択: 「◀◀」側または「▶▶」側を押します。
- ② サブメニューの選択: 「+」側または「-」側を押します。
- ③ 機能の決定: 「米」ボタンを押します。
- ④ 終了する: 「米」ボタンを長押しするか、または「▶/■」を押します。

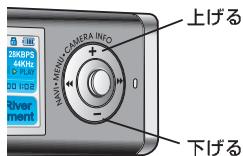


音楽を聞く

音楽ファイルを再生する



音量を調節する



音楽ファイルを選択する



別のフォルダの曲を再生する



早送り/巻き戻しする



FMラジオを聞く

FMラジオを聞く

- 1 「 (MODE/REC)」ボタンを長押しします。LCD画面に現在の機能が表示されます。



- 2 ① 側または 側を押して、[FM ラジオ]を選択します。
② 「米」ボタン、または「」ボタンを押して、選択を確定します。



- 3 「」側または「」側を押して、周波数を変更し、放送を選局します。



FMラジオを聞く

自動で放送局を探し、登録する(オートメモリ機能)

自動で放送局を探し、その順番に登録していく機能です。(プレーヤーがPRESETモードでない場合に限り動作します)。

- 1 「米」ボタンを押して、「PRESET」モードを取り消します。(LED画面から「PRESET」の表示が消えます。)



- 2 「A-B (MEMORY/EQ)」ボタンを長押しします。自動で放送局を探し登録します。



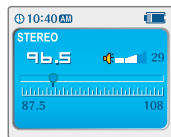
Note • 電波の弱い地域ではオートメモリが機能しないことがあります。

手動で放送局を登録する(メモリ機能)

- 1 「米」ボタンを押して、「PRESET」モードを取り消します。(LED画面から「PRESET」の表示が消えます。)



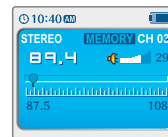
- 2 「◀◀」側または「▶▶」側を押す、もしくは長押しして、FM放送を選局します。



FMラジオを聞く

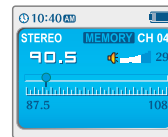
手動で放送局を登録する(メモリ機能)

- 3 「A-B (MEMORY/EQ)」ボタンを長押しします。
[MEMORY]という文字と、チャンネル番号が表示されます。



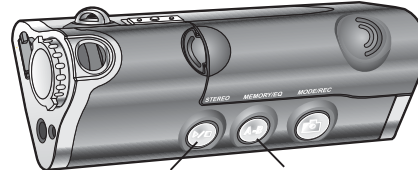
MEMORY CH 03
仮のチャンネル番号

- 4 「◀◀」側または「▶▶」側を押して、登録したいチャンネル番号に合せます。



MEMORY CH 04
登録したい
チャンネル番号

- 5 「A-B (MEMORY/EQ)」ボタンを押すと、登録完了です。取り消すには、「▶/■」ボタンを押します。



• 最大20チャンネルまで登録できます。

登録する

FMラジオを聞く

登録したチャンネルを削除する

- 1 プリセットモードで削除するチャンネルを選択します。
- 2 「A-B (MEMORY/EQ)」ボタンを長押しします。



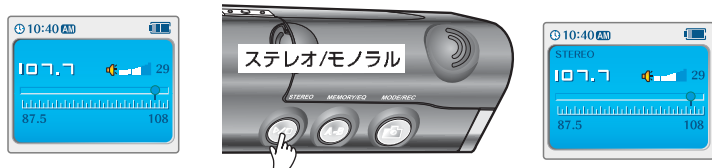
- 削除が完了すると次のチャンネルが表示されます。
- 次のチャンネルも削除する場合は「A-B」ボタンを長押しします。

注意

- FMチューナー受信は地域により異なります。
- プリセットモードでは、オートメモリ機能とメモリ機能は使用できません。
- プレーヤーに放送局が登録されていない場合は、[EMPTY]というメッセージがいったん表示されて消えます。

ステレオ/モノラルを選択する

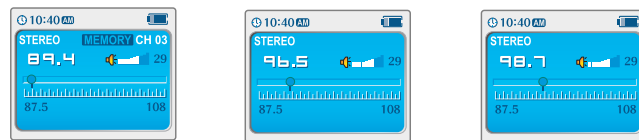
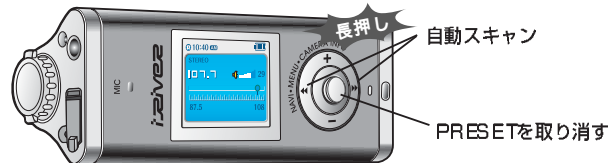
「▶/■ (STEREO)」ボタンを押してステレオ/モノラルを選択します。



FMラジオを聞く

放送を自動受信する

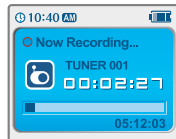
「*」ボタンを押して、プリセットモードを取り消します。(LED画面に[PRESET]の表示がない状態)「◀◀」側または「▶▶」側を長押しします。
周波数の自動スキャンが開始され、放送を受信すると、スキャンが停止します。



FM放送を録音する

FM放送を録音する

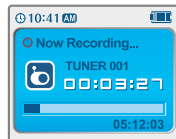
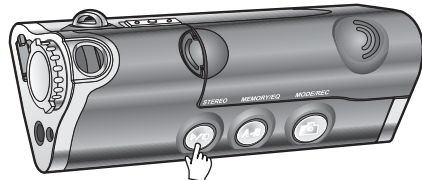
FM受信中に「 (MODE/REC)」ボタンを押します。
受信中の放送局が録音され、LCD画面には録音経過時間が表示されます。



Note • 録音音量の調整はできません。

FM録音を一時停止する

- 「▶/■」ボタンを押すと録音が一時的に停止します。
- 録音を再開するには、もう一度「▶/■」ボタンを押します。

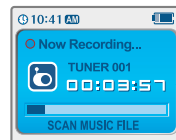
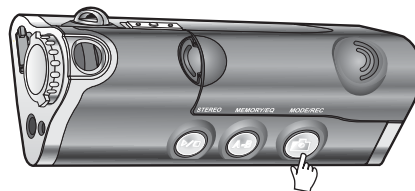


FM放送を録音する

FM録音を停止する

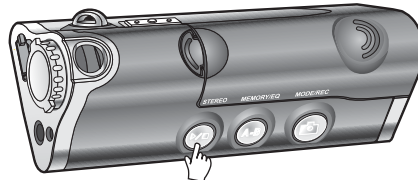
録音を停止するには、「 (MODE/REC)」ボタンを押します。

- 録音したファイルが、[TUNER00.REC]というファイル名で[RECORD]フォルダに保存されます。
- 録音したRECファイルをMP3ファイルに変換するには、iRiver Managerを使用します。
(『ソフトウェア取扱説明書』を参照。)




録音したファイルを再生する

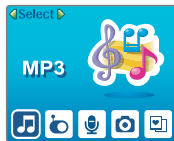
「MP3」機能に切り替えてから、[TUNER] フォルダから[TUNERXXX.REC] ファイルを選択し、「▶/■ (STEREO)」ボタンを押すと再生します。







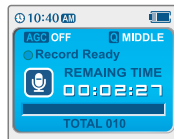
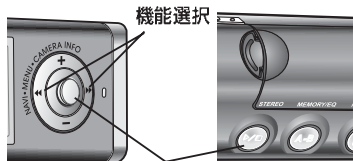
音声を録音する


音声を録音する

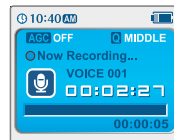
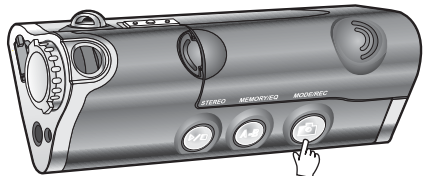
- 1 「 (MODE/REC)」ボタンを長押しして、LCD画面に現在の機能を表示します。



- 2 「」側または「」側を押して、「ボイス機能」を選択します。
「」ボタン（または「 (STEREO)」を押すと、音声録音(スタンバイ)モードに入ります。





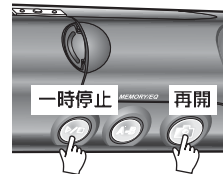
- 3 「 (MODE/REC)」ボタンを押すと音声録音が始まります。



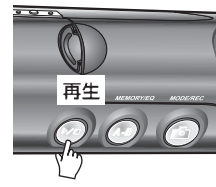
音声を録音する

音声録音を一時停止する


「/」(STEREO)」ボタンを押すと録音が一時停止します。もう一度「/」ボタンを押すと、録音が再開します。

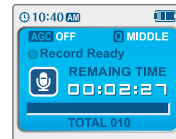


Note • 録音を再開しても新しい音声ファイルは作成されず、一時停止前と同じファイルに録音内容が追加されます。



音声の録音を停止する

「 (MODE/REC)」ボタンを押して録音を停止します。
メモ: 録音を停止し、再開した場合は新しい音声ファイルが作成されます。



- Note**
- 録音した「ファイル」は[VOICE]フォルダに[VOICEXXXREC]として保存されます。
 - LCD画面に[00:00:00]と表示された場合はプレーヤーのメモリが一杯であることを示します。この場合、録音するには、プレーヤーからファイルまたはフォルダを削除し、空きスペースを作ってください。(『ソフトウェア取扱説明書』を参照。)
 - 録音の歪みをさげるためプレーヤーを音源に近づけすぎないでください。
 - メモリが一杯の場合や、電池残量が少ない場合は録音できません。
 - 録音したRECファイルをMP3ファイルに変換するには、「iRiver Music Manager」を使用します。(『ソフトウェア取扱説明書』を参照。)

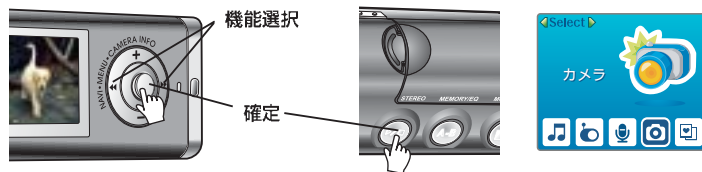
デジタルカメラ

撮影

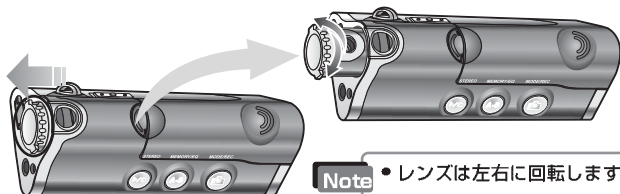
- 1 「 (MODE/REC)」ボタンを長押しします。LCD画面に現在の機能が表示されます。



- 2 「」側または「」側を押して、「カメラ機能」を選択し、「米」ボタン（または「 (STEREO)」を押して選択を確定します。



- 3 カメラレンズを引き出します。撮影する内容がLCD画面に表示されます。

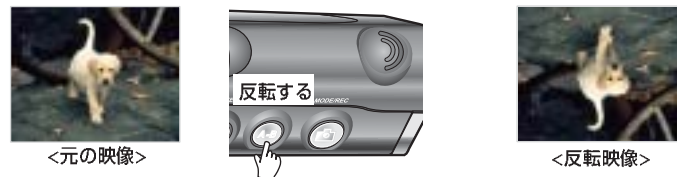


Note • レンズは左右に回転します。

デジタルカメラ

撮影

- 4 「A-B (MEMORY/EQ)」ボタンを押すと、画面を上下反転させることができます。



- 5 「+」側または「-」側を押して、ズームインまたはズームアウト(X1/X2/X3)します。



- 6 「 (MODE/REC)」ボタンを押して撮影します。



注意

- 撮った写真はP0206000.JPG (Pmdd000.jpg) というファイル名で[CAMERA]フォルダに保存されます。月 日 番号

デジタルカメラ

カメラの設定をする

1 カメラの状態です。「米」ボタンを短く押すと、現在のカメラの設定情報が表示されます。



2 「米」ボタンを長押しすると、カメラの設定を変更する画面が現れます。



3 「◀◀」側または「▶▶」側を押して、変更する設定項目を選択します。



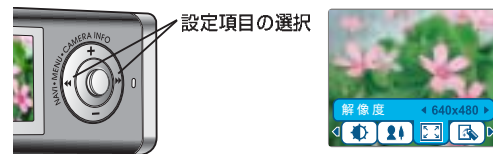
4 「米」ボタンを短く押して、確定します。



デジタルカメラ

カメラ設定

5 「◀◀」側または「▶▶」側を押して、値を選択します。



- 輝度: 0~100%(10%刻み/デフォルト: 50%)
- モード: 自動 / 室内 / 室外
- 解像度: 640 x 480 / 176 x 144 / 320 x 240
- 効果: ノーマル / モノトーン / セピア / ネガ / 露出

6 「米」ボタンを再度押して、選択を確定します。



7 「▶/■ (STEREO)」ボタンを押して、終了します。



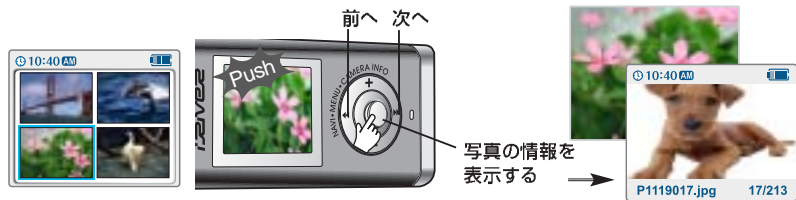
写真を見る(アルバム)

写真を見る

- 1 「 (MODE/REC)」ボタンを長押しします。LCD画面に現在の機能が表示されます。
- 2 「」側または「」側を押して、「アルバム」を選択し、「」ボタンを押して、選択を確定します。



- 3 「」側または「」側(「」側または「」側)を押して写真を選択し、「」ボタンを再度押すと前画面表示されます。



Note

• 全画面表示の場合でも、「」ボタンを押すと、その写真の情報が表示されます。

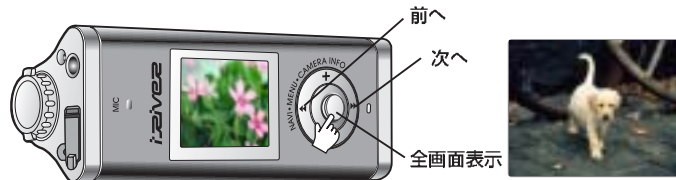
写真を見る(アルバム)

写真を見る

- 4 写真を拡大または縮小(x1.5/x2.0/x3.0/x1.0)するには、「MEMORY/EQ/(A-B)」ボタンを押します。
拡大した画面を上下左右にスクロールして見るには、「」側または「」側(「」側または「」側)を押します。



- 5 前または次の写真を選択するには、「」側または「」側を押します。



写真を見る(アルバム)

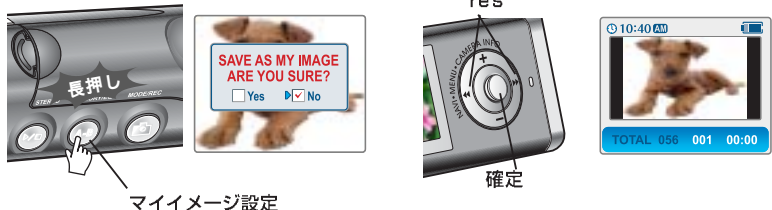
写真を削除する

- 1 削除する写真を選択してから、「米」ボタンを長押しします。
- 2 「[◀◀]」側を押して[Yes]にチェックを入れ、「米」ボタンを押して選択を確認すると、削除されます。



マイイメージ

- 1 プレーヤーの背景に表示する写真(=マイイメージ)を選択し、「A-B (MEMORY/EQ)」ボタンを長押しします。
- 2 「[◀◀]」側を押して[Yes]を選択し、「A-B (MEMORY/EQ)」ボタンを再度押して確認すると、マイイメージが登録されます。



マイイメージ設定

便利な機能

目次

音楽ファイルを探す(ナビゲーション)	5-1
サウンドイコライザー(EQ)を使用する	5-4
再生モード	5-5
オリジナルの再生リストを作成する	5-7
機能の設定をカスタマイズする(Menu)	5-11
● 基本操作	5-13
● 一般	5-15
● 表示	5-17
● タイマー	5-19
● コントロール	5-22
● モード	5-24
● サウンド	5-27

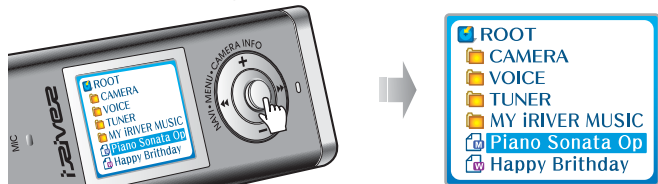
音楽ファイルを探す(ナビゲーション機能)

音楽ファイルを探す (ナビゲーション機能)

ナビゲーション機能(探索機能)は、プレーヤーに保存されている多くの音楽ファイルの中から聴きたい曲を探す機能です。



1 ナビゲーションボタン「米」を押してナビゲーション画面を表示します。



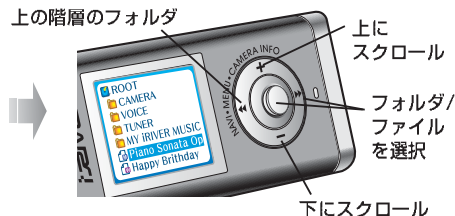
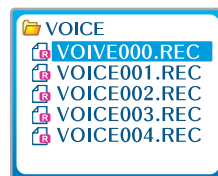
2 同じ階層内で上下に移動するには「+」側「-」を押します。



音楽ファイルを探す(ナビゲーション)

ナビゲーション

3 上の階層のフォルダに行くには「◀◀」、フォルダを選択するには「▶▶」(または「米」)を押します。



4 音楽ファイルを選択します。「▶▶」側、または「米」を押すと選んだ曲の再生が始まります。



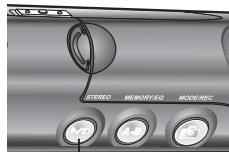
Note •ファイル形式に応じて次のように表示されます。

MP3	ASF	REC
RM	OGG	WMA

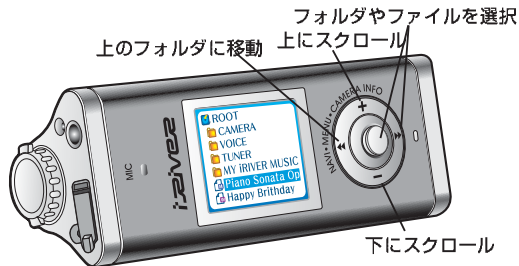
音楽ファイルを探す(ナビゲーション)

フォルダまたはファイルを削除する

- 1 停止状態で「米」ボタンを押し、ナビゲーション画面にします。
「◀◀」側または「▶▶」側を押して、削除するフォルダまたはファイルを選択します。



停止状態にする



上のフォルダに移動

フォルダやファイルを選択

上にスクロール

下にスクロール

- 2 「 (MODE/REC)」ボタンを押すと「FOLDER DELETE ARE YOU SURE?」というメッセージが画面に表示されます。
「▶▶」側を押して、削除[YES]を選択し、「米」ボタンで確定すると削除されます。



削除



確定

選択

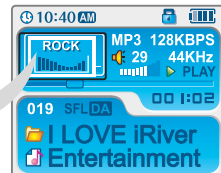
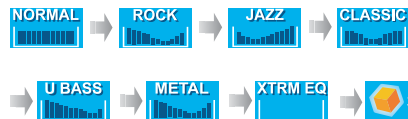
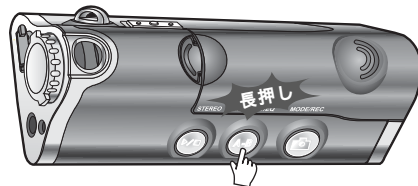
Note

- ファイルが入っているフォルダは削除できません。
- フォルダを削除するには、まずフォルダの中のファイルを削除して空のフォルダにしてください。

サウンドイコライザー(EQ)を使用する。

EQモード

音楽ジャンルに応じた音響効果(EQ)機能の選択をします。
「A-B (MEMORY/EQ)」ボタンを長押しすると、現在適用されているイコライザーが表示されます。再度長押しする度に、別のイコライザーに切り替わります。



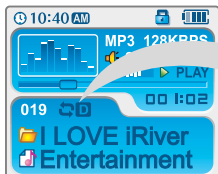
Note

- Xtreme EQ設定については「機能制御」(5-27/28ページ)を参照してください。
- Xtreme 3D設定については「機能制御」(5-27/28ページ)を参照してください。
- お好みのEQを[EQ SELECT]メニューの設定値に選択することもできます。
- メニューに設定した値は保存されますが、Xtreme EQおよびXtreme 3Dを選択しない場合、EQモードは変更されません。
- [Xtrm EQ]および[Xtrm 3D]は[MENU]で設定します。詳細は5-27/28ページを参照してください。





再生モード

再生モード (Mode)






リピートおよびシャッフルの各種オプションは、[Mode]で選択して設定します。
[Repeat(リピート)]モードと[Shuffle(シャッフル)]モードを切り替えるには、「MODE」ボタンを押します。
ユーザー設定については「モード機能制御」(5-24ページ)を参照してください。



リピート再生する(Repeat)

	1つのトラックをリピート再生します。
	フォルダの中のすべてのトラックを再生して停止します。
	フォルダの中のすべてのトラックをリピート再生します。
	プレーヤの中のすべてのトラックをリピート再生します。

ランダム再生する(Shuffle)

	プレーヤの中のすべてのトラックをランダム再生し停止します。
	1つのトラックをリピート再生します。
	フォルダの中のすべてのトラックをランダム再生して停止します。 フォルダの中のすべてのトラックをランダムにリピート再生します。
	フォルダの中のすべてのトラックをランダムにリピート再生します。
	プレーヤの中のすべてのトラックをランダムにリピート再生します。

Playback Mode

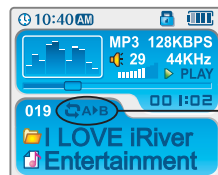
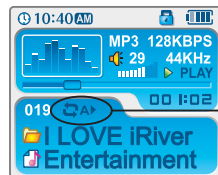
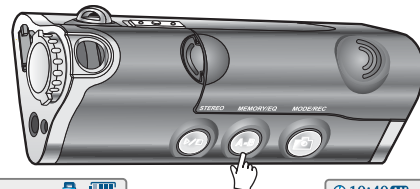
イントロ再生する

- I** **INTRO:** 各トラックの最初の10秒を順番に再生します。
INTRO HIGHLIGHT: 各トラックの1分からの10秒を順番に再生します。この機能は[MENU]で設定します。(5-25ページを参照してください)

指定区間をリピート再生する(A-B)

指定した区間 (A-B) を繰返し再生することができます(A-B repeat)。

「A-B (MEMORY/EQ)」ボタンを一度押して開始点<A>を選択します。もう一度ボタンを押して終了を選択します。A-B間がリピート再生されます。



オリジナルの再生リストを作成する(Program)

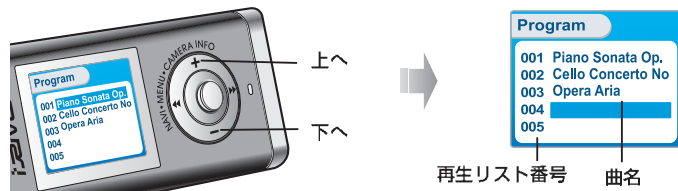
再生リストを作成する (Program)

プログラムモードで独自の再生リストを作成します。

- 1 再生が停止している状態で「A-B (MEMORY/EQ)」ボタンをクリックします。再生リストが表示されます。
(すでにプレーヤーに設定されている場合は、再生リストにその内容が表示されます。)



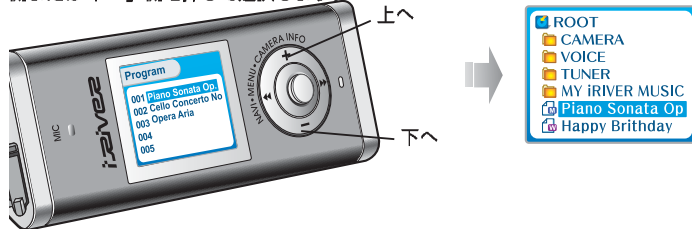
- 2 追加や変更をしたい再生リスト番号を「+」側または「-」側を押して選択します。



オリジナルの再生リストを作成する(Program)

再生リストを作成する (Program)

- 3 「米」ボタンを押してナビゲーション画面を表示させ、再生リストに追加する曲を「+」側または「-」側を押して選択します。



- 4 「A-B (MEMORY/EQ)」ボタンを押して再生リストに登録します。

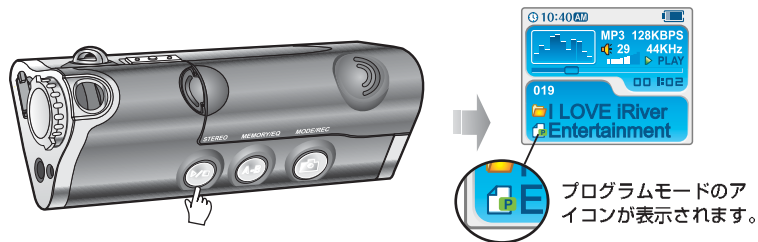


- 「+」側または「-」側を押してフォルダを選択し、「A-B (MEMORY/EQ)」ボタンを押すと、そのフォルダ内のすべてのファイルが再生リストに登録されます。
- この場合、サブフォルダは登録されません。

オリジナルの再生リストを作成する(Program)

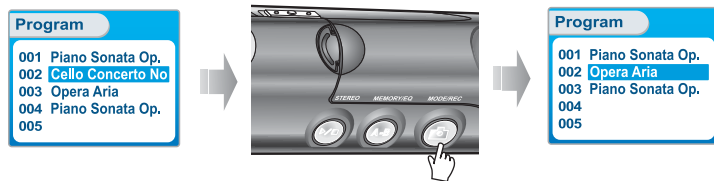
再生リストを再生する(プログラム再生)

「▶/■ (STEREO)」 ボタンを押すと、再生リストにある曲が順番に再生されます。



再生リストから登録を削除する

停止状態にし、削除する曲を「A-B (MEMORY/EQ)」ボタンで選択し、「▶/■ (MODE/REC)」ボタンを押すと削除され、再生リストが自動的に変更されます。



Note

- 再生リストにあるすべての曲を削除するには、「A-B (MEMORY/EQ)」 ボタンを長押しします。

好みの順序で再生する(Program)

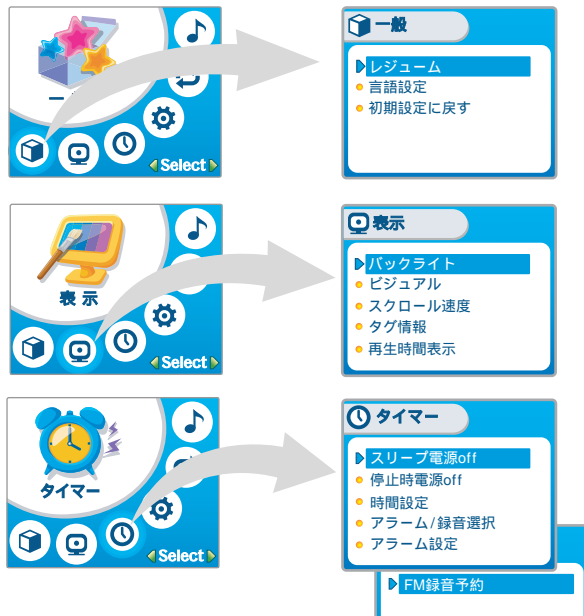
プログラムモードを終了する

停止状態で「米」ボタンを押します。
プログラム再生が取り消され、通常の再生が開始されます。



機能の設定をカスタマイズする(Menu)

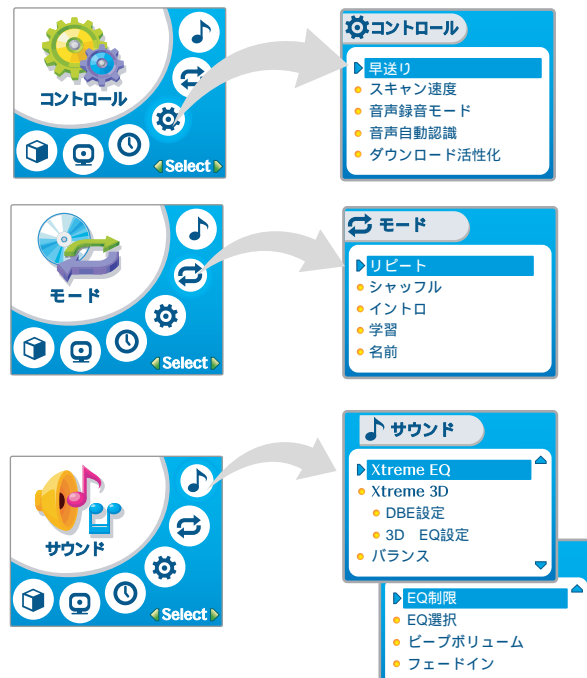
構成



- Note**
- 各機能はファームウェアのバージョンによって異なる場合があります。
 - また、ユーザー独自の設定を構成することができます。

機能の設定をカスタマイズする(Menu)

構成



メニュー - 基本操作

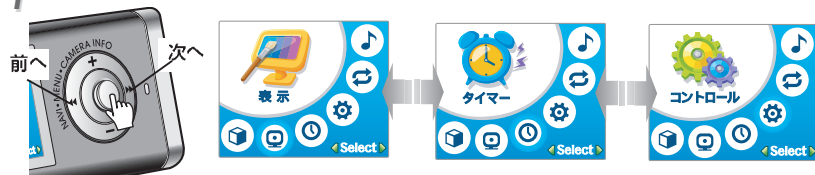
基本操作

- 「米 (NAVI/MENU)」ボタンを長押しすると、メニューが表示されます。
- メニューは、6つのメインメニューと、それぞれのサブメニューから構成されています。



メインメニューを選択するには

- 「◀◀」側または「▶▶」側を押して、メニューを選択します。



- 「米 (NAVI/MENU)」ボタンを押してサブメニューに進みます。



メニュー - 基本操作

サブメニューに入る

「◀◀」側または「▶▶」側を押して、サブメニューを選択し「米」ボタンで確定します。

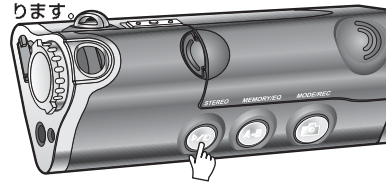


選択したサブメニューの設定、削除および変更を行うには、「▶▶」「◀◀」「+」「-」のいずれかの側を押します。「米」で確定し、サブメニューに戻ります。



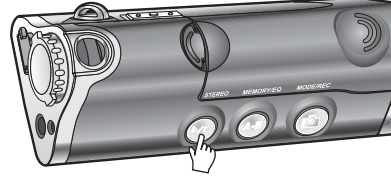
サブメニューの終了

サブメニュー画面で「▶/■ (STEREO)」ボタンをクリックすると、メインメニューに戻ります。



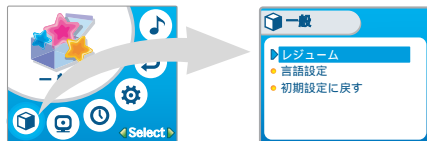
メインメニューの終了

「▶/■ (STEREO)」ボタンをクリックすると、メインメニューが終了します。



メニュー - 一般

一般



レジューム

ON : プレーヤの停止時または電源オフ時に再生されていた箇所から曲が再開されます。

OFF : プレーヤの停止後または電源オフ後は最初のトラックから再生が開始されます。



言語設定

39種類の言語に対応

曲名とID3タグ情報は、作成に使用したPCのOSのバージョンによって異なります。(たとえば、日本語バージョンのWindowsで作成したMP3ファイルの曲名を正しく表示するには、言語設定を[Japanese]にします)



メニュー - 一般

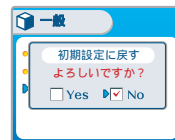
初期設定に戻す

メニュー設定を出荷時の設定に初期化します。

ボタン操作の順序は以下になります。

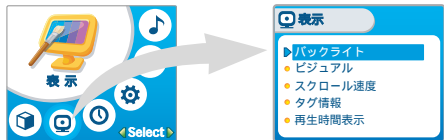
[* (NAVI/MENU)] ボタンを押し、「初期設定に戻す」で「◀◀」側を押す([YES]にチェックを入れる)。

[* (NAVI/MENU)] ボタンを押す([YES]を選択: 初期化完了)。



メニュー - 表示

表示



バックライト

バックライトが点灯している時間を調整できます。

秒：バックライトの点灯秒数(3～30)

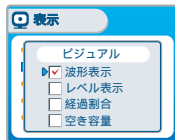
分：バックライトの点灯分数(1～30)

[戻る (NAVI/MENU)] ボタンを押して秒/分を設定します。



ビジュアル

再生中に各種ビジュアル機能、トラックの経過時間、およびブレイヤの空きメモリを表示できます。



メニュー - 表示

スクロール速度

垂直(上下)/水平(左右)のスクロール速度を、それぞれ1倍速、2倍速、4倍速のいずれかに調整できます。

垂直：上下にスクロールします。

水平：左から右へスクロールします。



タグ情報

On：トラックのID3タグ情報を表示します。

Off：トラックのファイル名を表示します。



Note

• ID3情報が付加されていない曲では、デフォルトでファイル名が表示されます。

再生時間表示

経過時間：経過時間を表示します。

残り時間：残り時間を表示します。



Note

• 可変ビットレート形式でエンコードされたファイルでは、時間が正確に表示されない場合があります。

メニュー - タイマー

タイマー



スリープ電源off

設定時間後に自動的に電源をオフにします。

(電源がオフになるまでの時間は、0~180分の範囲内で1分単位で設定できます。)

[ピープ]を[ON]に設定すると、電源がオフになる1分前に警告音が鳴ります。「▶▶▶」側または「◀◀◀」側を押して時間を調整します。

「米」ボタンを押すと、ピープON/OFFを設定できます。

ON：プレーヤがオフになる1分前に警告音が鳴ります。

OFF：警告音は鳴りません。



▶ いったん電源がオフになると、スリープタイマーが0にリセットされます。

停止時電源off

停止モードのときに電源が自動的にオフになります。

(時間範囲は1から60分まで1分ごとに設定できます。)

「▶▶▶」側または「◀◀◀」側を押して時間を調整します。



メニュー - タイマー

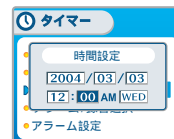
時間設定

現在の時間を設定します。

「◀◀◀」側または「▶▶▶」側を押して日時を選択し、「+」

側または「-」を押して値を設定します。

「▶▶▶」側または「◀◀◀」側を押して時間を調整します。



アラーム/録音選択

OFF：[アラーム]機能および[FM録音]機能が無効になり、それぞれで指定した時間になってもプレーヤの電源はオンになりません。

アラーム：[アラーム設定](下記参照)で指定された時間にプレーヤの電源がオンになり、音楽の再生が開始されます。

FM録音：[FM録音予約](5-21ページ参照)で指定された時間に、プレーヤの電源がオンになり、選択した放送局の録音が開始されます。



アラーム設定

アラームの作動時刻を設定します。

「◀◀◀」側または「▶▶▶」側を押して日時を選択し、「+」

側または「-」を押して値を設定します。



メニュー - タイマー

FM録音予約

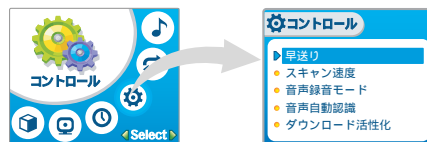
録音する放送局と時刻を設定します。

「◀◀」側または「▶▶」側を押して項目を選択し、「+」側または「-」側を押して数値を設定します。



メニュー - コントロール

コントロール



早送り

OFF：スキップが機能しません。

10：一度に10トラックスキップします。

ディレクトリ：前または次のフォルダにスキップします。

これにより「◀◀」および「▶▶」の「押す、長押し」操作方法が変わります。



スキャン速度

高速スキャンの速度を、1倍/2倍/4倍/6倍の中から選択できます。



メニュー - コントロール

音声録音モード

音声を録音するときの音声品質を調整できます。

ON : 音声録音のレベルが自動的に制御されるため、遠く離れた場所からの録音の質が向上します。

OFF : AGC (Automatic Gain Control: 自動入力制御機能) が機能しません。



音声自動認識

音声録音モードは、無音状態になると自動的に一時停止します。これは、長時間にわたる録音の場合にメモリの節約になります。

OFF : 音声自動検出機能が無効になります。

Voice Auto Detection (上のスライダー) : レコーダーを起動するのに必要なサウンドの相対レベルを設定します。(1-10)。

Record pause time (下のスライダー) : 録音が一時停止に至るまでの無音状態の秒数(1~10)を設定します。



ダウンロード活性化

プレーヤがPCに接続されているとき、この設定を使ってオーディオファイルを再生します。

OFF : プレーヤはPCに接続されている状態でオーディオファイルを再生します(電池の節約になります)。

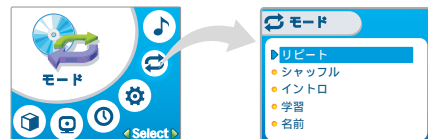
ON : プレーヤの画面に [Connected to USB] と表示され、ファイル転送が可能な状態になります。



Note • プレーヤにファイルを転送するには[ON]に設定する必要があります。

メニュー - モード

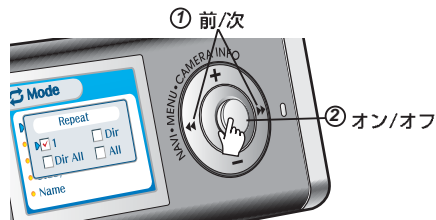
モード



リピート/シャッフル

オーディオファイルの再生中に「MODE/REC」を押すと、リピートやシャッフルなど、選択した再生モードがオンになります(複数選択が可能です)。

▼ 選択方法



Note • 「MODE/REC」ボタンを押したときは、選択した再生モードだけが使用できます(詳細は5-5/6ページを参照してください)。

メニュー - モード

イントロ

イントロ：各トラックの最初の10秒を順番に再生します。
ハイライト：各トラックの1分からの10秒を順番に再生します。



学習

再生中に「◀◀」または「▶▶」レバーを1回スライドさせると、現在のトラックが設定した時間分先に進みます。
OFF：Study Modeが無効になります。
1～60秒の範囲で設定します。

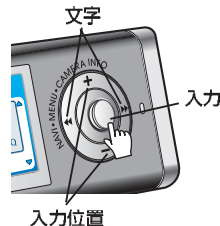


メニュー - モード

名前

ユーザーの名前やカスタムテキストを入力できます。

- 「◀◀」および「▶▶」で文字を選択し、「米」ボタンで文字を入力します。

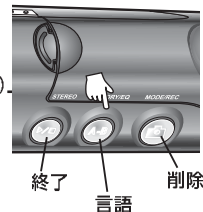


- [NAME]ウィンドウ内でカーソルを移動するには、「◀◀」側または「▶▶」側を押します。

- 英語から別の言語に変更するには、「A-B (MEMORY/EQ)」ボタンでスクロールします。

- 文字を削除するには、「[]」(MODE/REC) ボタンを押します。

- 保存して終了するには、「▶/■ (STEREO)」ボタンを押します。



Note

- 中国語および漢字は[Name]機能ではサポートされていません。

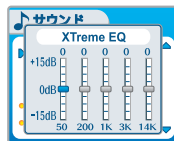
メニュー - サウンド

サウンド



Xtreme EQ

サウンドをお好みに応じて調整できます。
5つの周波数帯域ステップがあり、それぞれ-15dBから+15dBまで3dB単位で設定します。



•Xtreme EQの設定方法

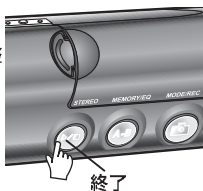
1. 「◀◀」および「▶▶」で、設定する周波数ステップを選択します。
2. 「+」または「-」でレベルを調整します。
3. Xtreme EQ設定を終了するには「▶/■」(STEREO)を押します。



周波数を選択



レベルを調整



終了

メニュー - サウンド

Xtreme 3D

3Dサウンドのレベル (Minimum、NaturalおよびMaximum) を調整できます。
Bass Boostまたは3D EQを選択して、3Dサウンドを拡張できます。「◀◀」レバーまたは「▶▶」レバーで、3Dサウンドのレベルを調整することもできます。
DBEと3D EQの選択には、「米 (NAVI/MENW)」ボタンを使用します。



DBE設定

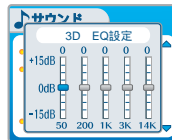
Bass Center Bandレベル (帯域1~4) を選択できます。
また、Bass Boostゲインも、0~15dBの範囲内で3dB単位で設定できます。



DBE(Dynamic Bass Enhancement)はXtreme 3Dの使用時に機能し、中低域の周波数を強調します。

3D EQ設定

サウンドをお好みに応じて調整できます。
5つの周波数帯域ステップがあり、それぞれ-15dBから+15dBまで3dB単位で設定します。



メニュー - バランス

バランス

サウンドは、お好みに応じて右、左、中央にバランスを取ることができます。[バランス]バーを[L](左、20)に寄せると、サウンドがイヤフォンの左側から出力されます。[バランス]バーを[R](右、20)に寄せると、サウンドがイヤフォンの右側から出力されます。デフォルト設定は0で、サウンドがイヤフォンの両方から同じレベルで出力されます。



EQ制限

ON : イコライザ周波数の制御を制限して、音声の歪みを防止します。

OFF : オリジナルサウンドをお楽しみいただけますが、サウンドに歪みが生じることがあります。



EQ選択

各種EQモードを選択できます。

「◀▶」または「▶▶」(「+」または「-」)スイッチでEQを選択し、「NAVI/MENU」ボタンを押します。



注意

- [NORMAL EQ] は選択できません。
- [Xtrem EQ] モードおよび[Xtrem 3D]モードは、ここで選択しないと、再生時に使用できません。

メニュー - サウンド

ビープボリューム

警告音のレベルを設定します。
[0] に設定するとオフになります。



フェードイン

オンにしておくくと再生開始時、ボリュームが徐々に大きくなり突然の大音量を防止します。





Memo

便利な機能

その他

目次

トラブルシューティング	6-1
注意	6-2
付属品	6-3
仕様	6-4

その他

トラブルシューティング

下記の症状について確認ができて、問題が解決しないようであれば、iRiverの販売店にお尋ねになるか、www.iriver.co.jpのサポートにお問い合わせください。

電源がオンにならない	<ul style="list-style-type: none">プレーヤーの「HOLD」スイッチが「ON」になっていないかどうか確認してください(位置を「OFF」に切り替えます)。電池の状態を確認してください。新しい電池を入れてください。
音が聞こえない、または再生中に歪みが生じる	<ul style="list-style-type: none">音量が[0]に設定されていないかどうか確認してください。イヤフォンのプラグを確実に接続してください。プラグが汚れていないかどうか確認してください。乾いた柔らかい布でプラグを拭いてください。MP3ファイルまたはWMAファイルが破損していると、雑音が聞こえたり、音が途切れる場合があります。PCで問題のファイルを聞いて、破損していないかどうか確認してください。
LCDの文字が正しく表示されない	<ul style="list-style-type: none">[メニュー] > [一般] > [言語設定]で、正しい言語が選択されているかどうか確認してください(ページ5-15を参照)。
FM受信の感度が悪い	<ul style="list-style-type: none">プレーヤーおよびイヤフォンの位置を調整してください。プレーヤーの近くにある電気機器の電源を切ってください。イヤフォンコードはアンテナの役割を果たしているため、接続しないと最適な受信状態が得られません。
MP3ファイルのダウンロードに失敗した	<ul style="list-style-type: none">電池の状態を確認してください。PCとプレーヤーが、確実にケーブル接続されているかどうか確認してください。Managerプログラムが作動してかどうか確認してください。プレーヤーのメモリが一杯でないか確認してください。

注意

安全について

- プレーヤーを落としたり、衝撃を加えたりしないでください。プレーヤーは歩いたり走りながら使用することを前提に設計されていますが、落としたり、過大な衝撃を加えたりすると、破損する場合があります。
- プレーヤーに水をかけないでください。水がかかると内部の部品が損傷する場合があります。濡れた場合は、ただちに柔らかい布で表面を拭いてください。
- プレーヤーを熱源の近くや、直射日光の当たる場所に放置しないでください。また、ほこり、砂、湿気、雨、および本体に対する衝撃量が極端に大きい場所や、凹凸のある場所のほか、窓を閉め切った車内に放置することも避けてください。
- プレーヤーを長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。電池を長期間プレーヤーの中に入れたままにしておくと、液漏れが発生し、部品に損傷を与える場合があります。
- 本製品に極端な衝撃が加わったり、落雷や停電が発生した場合、内部に格納されたデータがすべて消去される場合があります。極端な衝撃が加わったことや、落雷や停電によって生じた本製品の破損および内部の格納データなどの消失については、弊社では一切補償もせず責任を負いません。本製品に格納するデータの保護対策は、ご使用になる方が行ってください。

ヘッドホンおよびイヤフォンについて

- 路上での安全確保について
ヘッドホン/イヤフォンを使用しながら、車などを運転したり自転車に乗らないでください。地域によっては違法となるばかりでなく、交通事故が発生する可能性があります。大きい音量で再生しながら、横断歩道などを歩くことにも危険が伴います。危険を伴う場所では、細心の注意を払うか、使用自体を止めてください。
- 聴覚障害を防止するには
大きい音量でヘッドホン/イヤフォンを使用することは避けてください。聴覚の専門家からは、大きな音量での長時間の再生は避けるべきであるという意見が出されています。耳鳴りがしたら、音量を下げるか使用を止めてください。
- 公衆マナーについて
適度な音量を保つようにすれば、外部の音に反応できるだけでなく、周りの人に対するマナーにもなります。

付属品

1 イヤホン/イヤホンカバー 2 USBケーブル



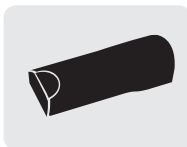
3 インストールCD



4 保証カード/ クイックスタートガイド



5 充電電池(x1)



6 装着用ネックストラップ



7 キャリングケース



8 アームバンド



9 ACアダプタ



注意 付属品の外観は、予告なく変更される場合があります。

仕様

メモリ	256MB	512MB
モデルNo.	iFP-1090	iFP-1095

※メモリ増設不可

分類	項目	仕様	
FM チューナー	FM周波数範囲	76 MHz ~ 108 MHz	
	S/N比	60 dB	
	アンテナ	ヘッドホン/イヤホン兼用コードアンテナ	
	寸法	91.1(幅) x 34(高さ) x 31.3(奥行) mm	
	重量	63 g(電池含む)	
	電池	充電電池	
音声	周波数範囲	20 Hz ~ 20 KHz	
	ヘッドホン出力	(L) 18 mW + (R) 18 mW (16Ω) 最大音量時 (L) 12 mW + (R) 12 mW (32Ω) 最大音量時	
	S/N比	90 dB(MP3)	
	ファイル形式	MPEG 1/2/2.5 Layer 3、WMA、OGG、ASF	
対応ファイル	ビットレート	8 Kbps ~ 320 Kbps (OGG : 44.1 KHz、96Kbps ~ 256Kbps)	
	タグ情報	ID3 V1、ID3 V2 2.0、ID3 V2 3.0、ID 3 V2 4.0	
	LCD	260,000色グラフィックLTPS(Low Temperature Poly Silicon: 低温ポリシリコン)バックライト方式	
	言語	40言語	
	音声録音	約18時間 (32kbps、256 MB)	約36時間 (32kbps、512 MB)
	最大連続再生時間	約35時間 (128 kbps、MP3、Volume : 20、EQ Normal)	
	USB	USB 1.1 (フルスピード対応)	
	動作温度	-5 ~ 40	

その他

1. 保証書の記入事項

本製品のパッケージには、保証書が同梱されております。お買い上げの際は必ず販売店より[購入日]と[販売店印]欄などの記入をお受けください。

保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。また、保証書には保証規定が記載されていますのでよくお読みください。

2. 修理をご依頼の前に

本取扱説明書のトラブルシューティング、ホームページのFAQをよくお読みいただき、それでも解決しない場合にはアイリバージャパン サポートセンターまでご相談ください。

アイリバージャパンサポートセンター

0120-266-551 E-mail: info@iriver.co.jp

受付時間：10:00～19:00

ホームページアドレス <http://www.iriver.co.jp>

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-2 センタークレストビル2F

誠に恐れ入りますが、年末年始などのサポートセンター休業日にはお電話をお受けできない場合もございますのであらかじめご了承ください。また、サポートセンターの電話が通話中の場合、誠に恐れ入りますがしばらくたってからおかけ直しいただけますようお願い申し上げます。

<ご注意>

※本製品で記録したものを私的な目的以外で、著作権者およびほかの権利者の承諾を得ずに複製、配布、配信することは著作権法および国際条約の規定により禁止されています。※本製品でのご使用により生じたその他の機器やソフトの損害に対し、当社では一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。※本製品およびパソコンの不具合により音楽データが破損、または消去された場合のデータ内容の補償はご容赦ください。※イヤホン使用時には、周囲の音が聞こえにくくなりますので、自転車や自動車などの乗り物を運転するときや、道路を横断するときなどは絶対にお使いにならないでください。また、音量を上げすぎて、周囲の迷惑にならないようご注意ください。※本製品に関するお問い合わせ、サポート、およびカタログ掲載内容については国内限定とさせていただきます。※記載の外観、および仕様は、改善等のため予告なく変更される場合があります。

<商標について>

※iriverは、大韓民国およびその他の国におけるiriver Limitedの登録商標であり、ライセンスに基づき使用されます。
※Microsoft Windows MediaおよびWindowsロゴは、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。
※その他記載のシステム名、製品名および会社名は各開発メーカーの商標または登録商標です。